

2017年1月16日

株式会社みずほ銀行
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

【FinTech】RoBo-LAB 連携による3種類のロボットのおもてなし **～コミュニケーションロボットが資産運用のご相談に対応～**

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀、以下「みずほ銀行」）は、伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（代表取締役社長：菊地 哲、以下「CTC」）と連携し、本日から期間限定で、お客さまの資産運用のご相談に対応する3種類のコミュニケーションロボット（Pepper、Sota、NAO）をみずほ銀行八重洲口支店のFinTechコーナーに設置します。

■CTCのRoBo-LABから「ロボット&IoTプラットフォーム」を提供

「RoBo-LAB（ロボラボ）」とは、ロボットの企業利用を研究するCTCの検証施設です。コミュニケーションロボットのビジネス利用を具体的に検討されているお客さまにロボット導入の企画検討の支援から、利用場面に応じた各種ロボットのデモンストレーションや機能の確認、ロボットアプリケーションの開発を行います。今回のコミュニケーションロボット設置においては、各種ロボットとWebサービスやセンサーを連携させたシナリオの作成・実行・管理が可能なCTC開発のロボット&IoTプラットフォームを提供しています。

■コミュニケーションロボットの設置目的

警備や搬送、介護・福祉の現場、接客などさまざまな分野でロボットの活用が進んでおり、市場の大幅成長が予測されています。米国では商品の配送やルームサービスなどを提供する業務特化型のサービスロボットの活用が始まっており、国内でもロボットを連携させたサービスが増加するものと予想されます。

そのような中、CTC開発のロボット&IoTプラットフォームを活用した3種類のロボットによるサービスを体験いただくため、みずほ銀行八重洲口支店内のFinTechコーナーに期間限定（1月16日～2月17日）でコミュニケーションロボットを設置します。具体的には、Pepper、Sota、NAOがお客さまをお迎えし、「NISAのお得な話」や「海外の金利動向」、「将来のお金の準備」などお客さまのお役に立つ資産運用の話について連携してご案内します。

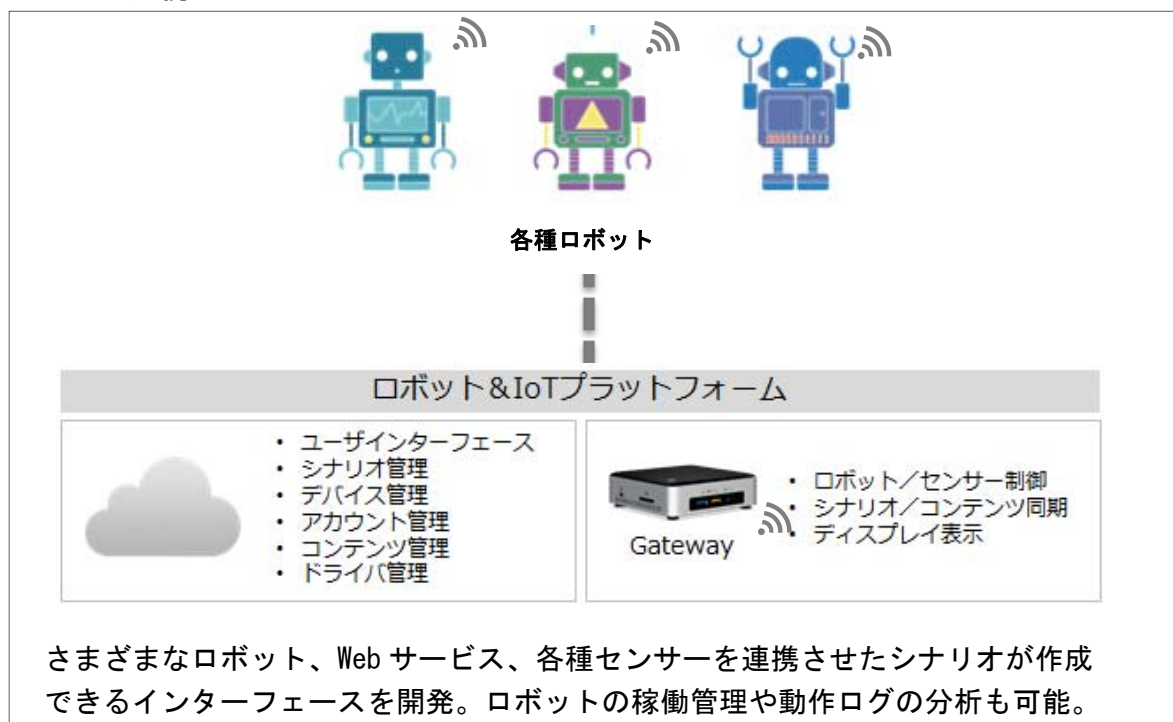
■今後の展開

みずほ銀行は、ロボットとお客さまとのコミュニケーション内容と既存取引情報や最新金融情報との融合によるOne to One対応、人工知能技術との連携によるインタラクティブな対応をベースにした行員のコンサルティングサポートなど、より高度なロボット活用を展望していきます。また、今回の期間限定設置を契機として、複数の異なるロボット連携による

接客の実効性を見極め、将来的にはロボットによる受付から窓口業務まで一気通貫したサービス提供を展望していきます。

CTC は、コミュニケーションロボット・業務特化型サービスロボットへの対応やロボット & IoT プラットフォームの機能追加を行い、RoBo-LAB のサービス強化を図ることでお客さまの新たなサービス創出に貢献していきます。

■ロボット連携イメージ



※Sota はヴイストン株式会社の登録商標です。

※Pepper および NAO はソフトバンクロボティクス株式会社の各国における登録商標または商標です。

※本件は、ソフトバンクロボティクス株式会社の Pepper を活用し、みずほ銀行と CTC が独自に実施しているものです。

※本件は、ソフトバンクロボティクス株式会社の NAO を活用し、みずほ銀行と CTC が独自に実施しているものです。

以 上